

岩広連監第10号  
平成24年10月1日

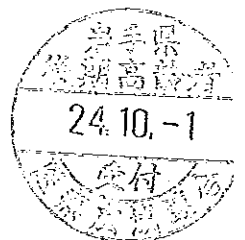
岩手県後期高齢者医療広域連合長 谷藤 裕明 様

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員 藤 尾 善 一  
同 浅 沼 幸 雄



平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計  
決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条第2項の規定により審査に付された平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。



平成 23 年度

岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び  
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

## 岩手県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算・基金の運用状況

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	審査の概要	
1	総括	
(1)	決算の概要	2
ア	決算収支の状況	2
イ	歳入決算の状況	3
ウ	歳出決算の状況	3
エ	歳入歳出前年度比較	3
2	一般会計	
(1)	決算の概要	4
(2)	歳入	5
(3)	歳出	9
3	特別会計	
(1)	決算の概要	12
(2)	歳入	13
(3)	歳出	19
4	財産	
(1)	物品	24
(2)	基金	24
第6	審査意見	25

注 文中及び表中の比率は百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入したが、端数調整の都合上、これによらないものがある。

# 平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合 歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

- (1) 平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (3) 実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

## 第2 審査の期日

平成24年8月1日

## 第3 審査の方法

広域連合長から提出された平成23年度歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算の執行は適正であるかなどに主眼を置くとともに、関係諸帳簿及び証書類等によって調査照合を行った。

また、必要に応じて説明を求めたほか、例月出納検査の結果も参考にするなど、通常必要とされる審査手続によって審査した。

## 第4 審査の結果

決算書類等は、法令の規定に準拠して調製されており、決算書類等に記載の金額は、会計伝票、諸帳簿及び証書類等と符合し、計数は正確であると認められた。また、予算執行状況についても、概ね適切かつ効率的、効果的に処理されていると認められた。

## 第5 審査の概要

### 1 総括

#### (1) 決算の概要

##### ア 決算収支の状況

平成23年度の一般会計・特別会計の総決算額は、歳入総額 144,995,008,528円に対し、歳出総額 139,748,073,776円で、歳入歳出差引額は（形式収支額） 5,246,934,752円、実質収支額 5,246,934,752円となっている。

（単位：円、％）

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引残額 C=A-B	翌年度へ繰り越すべき財源 D
一般	1,138,021,073	1,126,417,284	11,603,789	0
後期高齢者医療	143,856,987,455	138,621,656,492	5,235,330,963	0
合計①	144,995,008,528	139,748,073,776	5,246,934,752	0
平成22年度②	140,351,143,989	135,229,294,571	5,121,849,418	0
比較増減①-②	4,643,864,539	4,518,779,205	125,085,334	0
増減率	3.3	3.3	2.4	0

区 分	当年度実質収支額 E=C-D	前年度実質収支額 F	当年度単年度収支額 E-F
一般	11,603,789	14,526,843	△2,923,054
後期高齢者医療	5,235,330,963	5,107,322,575	128,008,388
合計①	5,246,934,752	5,121,849,418	125,085,334
平成22年度②	5,121,849,418	4,408,170,464	713,678,954
比較増減①-②	125,085,334	713,678,954	△588,593,620
増減率	2.4	16.2	△82.5

イ 歳入決算の状況

歳入決算額は、調定額 144,995,008,528円に対し 144,995,008,528円の収入で、不納欠損額は 0円、収入未済額は 0円となっている。

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
一般	1,137,830,000	1,138,021,073	1,138,021,073	0	0
後期高齢者医療	147,089,481,000	143,856,987,455	143,856,987,455	0	0
合 計	148,227,311,000	144,995,008,528	144,995,008,528	0	0

ウ 歳出決算の状況

支出済額は 139,748,073,776円、予算現額に対し94.3%の執行率で、不用額 8,479,237,224円となっている。

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一般	1,137,830,000	1,126,417,284	0	11,412,716	99.0
後期高齢者医療	147,089,481,000	138,621,656,492	0	8,467,824,508	94.2
合 計	148,227,311,000	139,748,073,776	0	8,479,237,224	94.3

エ 歳入歳出前年度比較

(単位：円、%)

区 分		平成23年度	平成22年度	前年度比較	
				増減額	増減率
一般	歳入	1,138,021,073	1,252,223,572	△114,202,499	△9.1
	歳出	1,126,417,284	1,237,696,729	△111,279,445	△9.0
後期高齢者医療	歳入	143,856,987,455	139,098,920,417	4,758,067,038	3.4
	歳出	138,621,656,492	133,991,597,842	4,630,058,650	3.5
合 計	歳入	144,995,008,528	140,351,143,989	4,643,864,539	3.3
	歳出	139,748,073,776	135,229,294,571	4,518,779,205	3.3

## 2 一般会計

### (1) 決算の概要

(単位：円、%)

区 分	平成23年度	平成22年度	前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額 A	1,137,830,000	1,252,485,000	△114,655,000	△9.2
調定額 B	1,138,021,073	1,252,223,572	△114,202,499	△9.1
収入済額 C	1,138,021,073	1,252,223,572	△114,202,499	△9.1
不納欠損額 D	0	0	0	0
収入未済額 E=B-C-D	0	0	0	0
支出済額 F	1,126,417,284	1,237,696,729	△111,279,445	△9.0
翌年度繰越額 G	0	0	0	0
不用額 H=A-F-G	11,412,716	14,788,271	△3,375,555	△22.8
収入支出差引額 I=C-F	11,603,789	14,526,843	△2,923,054	△20.1
予算現額に対する執行率 J=C/A	100.0	100.0	-	-
調定に対する収入率 K=C/B	100.0	100.0	-	-
歳出執行率 L=F/A	99.0	98.8	-	-

平成23年度の一般会計歳入歳出の決算額は、収入済額が 1,138,021,073円、支出済額 1,126,417,284円である。予算現額 1,137,830,000円に対する歳入の執行率は100.0%、歳出の執行率は 99.0%となり、収入支出差引額は 11,603,789円となっている。

## (2) 歳入

## 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
1 分担金及び負担金	180,100,000	180,100,000	180,100,000	0	0	15.8
2 国庫支出金	933,994,000	933,962,350	933,962,350	0	0	82.1
3 県支出金	1,126,000	1,094,350	1,094,350	0	0	0.1
4 財産収入	1,249,000	1,236,322	1,236,322	0	0	0.1
6 繰入金	6,509,000	6,509,059	6,509,059	0	0	0.6
7 繰越金	14,526,000	14,526,843	14,526,843	0	0	1.3
8 諸収入	326,000	592,149	592,149	0	0	0.1
合 計 ①	1,137,830,000	1,138,021,073	1,138,021,073	0	0	100.0
平成22年度 ②	1,252,485,000	1,252,223,572	1,252,223,572	0	0	-
増減額 ①-②	△114,655,000	△114,202,499	△114,202,499	0	0	-
増減率	△9.2	△9.1	△9.1	0.0	0.0	-

## 第1款 分担金及び負担金（市町村負担金）

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	180,100,000	180,100,000	180,100,000	0	0	100.0	100.0
22	197,327,000	197,327,000	197,327,000	0	0	100.0	100.0
比較	△17,227,000	△17,227,000	△17,227,000	0	0		
増減比	△8.7	△8.7	△8.7	0.0	0.0		

収入済額は180,100,000円で、前年度に比べ17,227,000円減少している。減少の要因は、東日本大震災による派遣職員の3名減員、事務事業費の効率的な執行並びに財政調整基金繰入金を繰り入れたことに伴う、市町村からの事務費負担金の減である。



## 第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	933,994,000	933,962,350	933,962,350	0	0	100.0	100.0
22	1,033,706,000	1,033,695,860	1,033,695,860	0	0	100.0	100.0
比較	△99,712,000	△99,733,510	△99,733,510	0	0		
増減比	△9.6	△9.6	△9.6	0.0	0.0		

[国庫支出金の項別内訳]

(単位：円、%)

国庫支出金	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 国庫負担金 (保険料不均一賦課負担金)	1,094,350	1,094,350	100.0	1,107,750	△13,400	△1.2
2 国庫補助金 (総務費国庫補助金)	932,868,000	932,868,000	100.0	1,032,588,110	△99,720,110	△9.7
合 計	933,962,350	933,962,350	100.0	1,033,695,860	△99,733,510	△9.6

収入済額は 933,962,350円 で、前年度に比べ 99,733,510円 減少している。減少の主な要因は、保険料軽減の補てん財源である、高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金の減である。

## 第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	1,126,000	1,094,350	1,094,350	0	0	97.2	100.0
22	1,118,000	1,107,750	1,107,750	0	0	99.1	100.0
比較	8,000	△13,400	△13,400	0	0		
増減比	0.7	△1.2	△1.2	0.0	0.0		

収入済額は 1,094,350円 で、前年度に比べ 13,400円 減少している。

#### 第4款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	1,249,000	1,236,322	1,236,322	0	0	99.0	100.0
22	1,666,000	1,695,119	1,695,119	0	0	101.7	100.0
比較	△417,000	△458,797	△458,797	0	0		
増減比	△25.0	△27.1	△27.1	0.0	0.0		

収入済額は1,236,322円で、前年度に比べ458,797円減少している。減少の主な要因は、後期高齢者医療制度臨時特例基金の運用益の減である。

#### 第6款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	6,509,000	6,509,059	6,509,059	0	0	100.0	100.0
22	4,089,000	4,088,791	4,088,791	0	0	100.0	100.0
比較	2,420,000	2,420,268	2,420,268	0	0		
増減比	59.2	59.2	59.2	0.0	0.0		

収入済額は6,509,059円で、前年に比べ2,420,268円増加している。増加の主な要因は、財政調整基金繰入金の増である。

第7款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	14,526,000	14,526,843	14,526,843	0	0	100.0	100.0
22	13,018,000	13,018,118	13,018,118	0	0	100.0	100.0
比較	1,508,000	1,508,725	1,508,725	0	0		
増減比	11.6	11.6	11.6	0.0	0.0		

収入済額は 14,526,843円で、前年度に比べ 1,508,725円増加している。

第8款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	326,000	592,149	592,149	0	0	181.6	100.0
22	1,561,000	1,290,934	1,290,934	0	0	82.7	100.0
比較	△1,235,000	△698,785	△698,785	0	0		
増減比	△79.1	△54.1	△54.1	0.0	0.0		

[諸収入の項別内訳]

(単位：円、%)

諸収入	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 預金利子	16,229	16,229	100.0	13,628	2,601	19.1
2 雑入	575,920	575,920	100.0	1,277,306	△701,386	△54.9
合計	592,149	592,149	100.0	1,290,934	△698,785	△54.1

収入済額は 592,149円で、前年度に比べ 698,785円減少している。

### (3) 歳出

支出済額は 1,126,417,284円で、予算現額 1,137,830,000円に対する執行率は 99.0%となっている。

不用額は 11,412,716円で、主なものは総務費 2,945,811円、予備費 7,762,000円であり、前年度に比較すると 3,375,555円 (22.8%) 減少している。

〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 議会費	1,720,000	1,079,395	62.8	0.1	0	640,605
2 総務費	1,126,095,000	1,123,149,189	99.7	99.7	0	2,945,811
3 民生費	2,253,000	2,188,700	97.1	0.2	0	64,300
4 予備費	7,762,000	0	0.0	0.0	0	7,762,000
合 計 ①	1,137,830,000	1,126,417,284	99.0	100.0	0	11,412,716
平成22年度 ②	1,252,485,000	1,237,696,729	98.8	-	0	14,788,271
増減額 ①-②	△114,655,000	△111,279,445		-	0	△3,375,555
増減率	△9.2	△9.0		-	0.0	△22.8

### 第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	1,720,000	1,079,395	0	640,605	62.8
22	1,699,000	1,057,258	0	641,742	62.2
比較	21,000	22,137	0	△1,137	
増減比	1.2	2.1	0.0	△0.2	

支出済額は 1,079,395円で、前年度に比べ 22,137円増加している。

## 第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	1,126,095,000	1,123,149,189	0	2,945,811	99.7
22	1,241,540,000	1,234,423,971	0	7,116,029	99.4
比較	△115,445,000	△111,274,782	0	△4,170,218	
増減比	△9.3	△9.0	0.0	△58.6	

[総務費の項別内訳]

(単位：円、%)

総務費	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 総務管理費	1,125,834,000	1,122,988,906	99.7	1,234,310,771	△111,321,865	△9.0
2 選挙費	24,000	20,000	83.3	0	20,000	皆増
3 監査委員費	237,000	140,283	59.2	113,200	27,083	23.9
合計	1,126,095,000	1,123,149,189	99.7	1,234,423,971	△111,274,782	△9.0

支出済額は1,123,149,189円で、前年度に比べ111,274,782円減少している。減少の主な要因は、後期高齢者医療制度臨時特例基金積立金及び派遣職員人件費負担金の減である。

## 第3款 民生費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	2,253,000	2,188,700	0	64,300	97.1
22	2,238,000	2,215,500	0	22,500	99.0
比較	15,000	△26,800	0	41,800	
増減比	0.7	△1.2	0.0	185.8	

支出済額は2,188,700円で、前年度に比べ26,800円減少している。

第4款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	7,762,000	0	0	7,762,000	0.0
22	7,008,000	0	0	7,008,000	0.0
比較	754,000	0	0	754,000	
増減比	10.8	0.0	0.0	10.8	

### 3 特別会計

#### (1) 決算の概要

(単位：円、%)

区 分	平成23年度	平成22年度	前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額 A	147,089,481,000	141,648,589,000	5,440,892,000	3.8
調定額 B	143,856,987,455	139,098,920,417	4,758,067,038	3.4
収入済額 C	143,856,987,455	139,098,920,417	4,758,067,038	3.4
不納欠損額 D	0	0	0	0
収入未済額 E=B-C-D	0	0	0	0
支出済額 F	138,621,656,492	133,991,597,842	4,630,058,650	3.5
翌年度繰越額 G	0	0	0	0
不用額 H=A-F-G	8,467,824,508	7,656,991,158	810,833,350	10.6
収入支出差引額 I=C-F	5,235,330,963	5,107,322,575	128,008,388	2.5
予算現額に対する執行率 J=C/A	97.8	98.2	-	-
調定に対する収入率 K=C/B	100.0	100.0	-	-
歳出執行率 L=F/A	94.2	94.6	-	-

平成23年度の後期高齢者医療特別会計歳入歳出の決算額は、収入済額が 143,856,987,455円、支出済額 138,621,656,492円である。予算現額 147,089,481,000円に対する歳入の執行率は97.8%、歳出の執行率は 94.2%となり、収入支出差引額は 5,235,330,963円となっている。

## (2) 歳入

## 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
1 市町村支出金	21,533,275,000	21,393,978,692	21,393,978,692	0	0	14.9
2 国庫支出金	49,533,699,000	49,014,915,470	49,014,915,470	0	0	34.1
3 県支出金	11,671,343,000	11,176,172,398	11,176,172,398	0	0	7.8
4 支払基金交付金	58,074,061,000	55,963,113,000	55,963,113,000	0	0	38.9
5 特別高額医療費 共同事業交付金	5,000,000	13,656,407	13,656,407	0	0	0.0
8 繰入金	1,042,271,000	1,030,227,119	1,030,227,119	0	0	0.7
9 繰越金	5,107,322,000	5,107,322,575	5,107,322,575	0	0	3.6
11 諸収入	122,510,000	157,601,794	157,601,794	0	0	0.1
合 計 ①	147,089,481,000	143,856,987,455	143,856,987,455	0	0	100.0
平成22年度 ②	141,648,589,000	139,098,920,417	139,098,920,417	0	0	-
増減額 ①-②	5,440,892,000	4,758,067,038	4,758,067,038	0	0	-
増減率	3.8	3.4	3.4	0.0	0.0	-



第1款 市町村支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	21,533,275,000	21,393,978,692	21,393,978,692	0	0	99.4	100.0
22	21,601,514,000	21,428,501,979	21,428,501,979	0	0	99.2	100.0
比較	△68,239,000	△34,523,287	△34,523,287	0	0		
増減比	△0.3	△0.2	△0.2	0.0	0.0		

[市町村支出金の項別内訳]

(単位：円、%)

市町村支出金	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 市町村負担金	21,393,978,692	21,393,978,692	100.0	21,428,501,979	△34,523,287	△0.2
(1) 事務費負担金	244,900,000	244,900,000	100.0	259,443,000	△14,543,000	△5.6
(2) 保険料等負担金	9,797,213,440	9,797,213,440	100.0	10,179,939,790	△382,726,350	△3.8
(3) 療養給付費負担金	11,351,865,252	11,351,865,252	100.0	10,989,119,189	362,746,063	3.3

収入済額は 21,393,978,692円で、前年度に比べ 34,523,287円減少している。減少の主な要因は、保険料等負担金については、東日本大震災の被災者への保険料減免の実施等によるもので、事務費負担金については、各種委託料の歳出減及び事務事業費の効率的な執行等による歳出減である。

## 第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	49,533,699,000	49,014,915,470	49,014,915,470	0	0	99.0	100.0
22	46,528,611,000	46,276,462,891	46,276,462,891	0	0	99.5	100.0
比較	3,005,088,000	2,738,452,579	2,738,452,579	0	0		
増減比	6.5	5.9	5.9	0.0	0.0		

〔国庫支出金の項別内訳〕

(単位：円、%)

国庫支出金	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 国庫負担金	34,314,391,837	34,314,391,837	100.0	33,052,788,587	1,261,603,250	3.8
(1) 療養給付費負担金	33,993,858,000	33,993,858,000	100.0	32,748,136,106	1,245,721,894	3.8
(2) 高額医療費負担金	320,533,837	320,533,837	100.0	304,652,481	15,881,356	5.2
2 国庫補助金	14,700,523,633	14,700,523,633	100.0	13,223,674,304	1,476,849,329	11.2
(1) 調整交付金	13,527,346,000	13,527,346,000	100.0	13,153,497,000	373,849,000	2.8
(2) 保健事業補助金	52,417,000	52,417,000	100.0	57,711,000	△5,294,000	△9.2
(3) 総務費補助金	4,573,000	4,573,000	100.0	7,412,000	△2,839,000	△38.3
(4) 特別高額医療費 共同事業補助金	5,222,633	5,222,633	100.0	5,054,304	168,329	3.3
(5) 後期高齢者医療災 害臨時特例補助金	1,110,965,000	1,110,965,000	100.0	-	1,110,965,000	皆増
合 計	49,014,915,470	49,014,915,470	100.0	46,276,462,891	2,738,452,579	5.9

収入済額は 49,014,915,470円で、前年度に比べ 2,738,452,579円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したこと及び東日本大震災の被災に伴う後期高齢者医療災害臨時特例補助金の交付によるものである。

### 第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	11,671,343,000	11,176,172,398	11,176,172,398	0	0	95.8	100.0
22	11,196,785,000	10,926,570,450	10,926,570,450	0	0	97.6	100.0
比較	474,558,000	249,601,948	249,601,948	0	0		
増減比	4.2	2.3	2.3	0.0	0.0		

[県支出金の項別内訳]

(単位：円、%)

県支出金	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 県負担金	11,176,172,398	11,176,172,398	100.0	10,926,570,450	249,601,948	2.3
(1) 療養給付費負担金	10,863,692,648	10,863,692,648	100.0	10,635,873,011	227,819,637	2.1
(2) 高額医療費負担金	312,479,750	312,479,750	100.0	290,697,439	21,782,311	7.5

収入済額は 11,176,172,398円で、前年度に比べ 249,601,948円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したことによるものである。

### 第4款 支払基金交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	58,074,061,000	55,963,113,000	55,963,113,000	0	0	96.4	100.0
22	56,814,392,000	54,833,985,000	54,833,985,000	0	0	96.5	100.0
比較	1,259,669,000	1,129,128,000	1,129,128,000	0	0		
増減比	2.2	2.1	2.1	0.0	0.0		

収入済額は 55,963,113,000円で、前年度に比べ 1,129,128,000円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したことによるものである。

第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	5,000,000	13,656,407	13,656,407	0	0	273.1	100.0
22	2,700,000	6,894,615	6,894,615	0	0	255.4	100.0
比較	2,300,000	6,761,792	6,761,792	0	0		
増減比	85.2	98.1	98.1	0.0	0.0		

収入済額は 13,656,407円で、前年度に比べ 6,761,792円増加している。増加の要因は、交付対象である1件当たり400万円超のレセプト件数の増である。

第8款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	1,042,271,000	1,030,227,119	1,030,227,119	0	0	98.8	100.0
22	1,018,075,000	1,012,010,412	1,012,010,412	0	0	99.4	100.0
比較	24,196,000	18,216,707	18,216,707	0	0		
増減比	2.4	1.8	1.8	0.0	0.0		

[繰入金の項別内訳]

(単位：円、%)

繰入金	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 一般会計繰入金	2,188,700	2,188,700	100.0	2,215,500	△26,800	△1.2
2 基金繰入金	1,028,038,419	1,028,038,419	100.0	1,009,794,912	18,243,507	1.8
合計	1,030,227,119	1,030,227,119	100.0	1,012,010,412	18,216,707	1.8

収入済額は 1,030,227,119円で、前年度に比べ 18,216,707円増加している。増加の要因は、保険料軽減の補てん財源に充てるための後期高齢者医療制度臨時特例基金繰入金の増である。

### 第9款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	5,107,322,000	5,107,322,575	5,107,322,575	0	0	100.0	100.0
22	4,395,152,000	4,395,152,346	4,395,152,346	0	0	100.0	100.0
比較	712,170,000	712,170,229	712,170,229	0	0		
増減比	16.2	16.2	16.2	0.0	0.0		

収入済額は 5,107,322,575円で、前年度に比べ 712,170,229円増加している。

### 第11款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
23	122,510,000	157,601,794	157,601,794	0	0	128.6	100.0
22	91,360,000	219,342,724	219,342,724	0	0	240.1	100.0
比較	31,150,000	△61,740,930	△61,740,930	0	0		
増減比	34.1	△28.1	△28.1	0.0	0.0		

[諸収入の項別内訳]

(単位：円、%)

諸収入	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 延滞金、加算金及び過料	0	0	0.0	0	0	0.0
2 預金利子	10,328,470	10,328,470	100.0	8,121,220	2,207,250	27.2
3 雑入	147,273,324	147,273,324	100.0	211,221,504	△63,948,180	△30.3
合計	157,601,794	157,601,794	100.0	219,342,724	△61,740,930	△28.1

収入済額は 157,601,794円で、前年度に比べ 61,740,930円減少している。減少の主な要因は、第三者納付金が減少したことによるものである。

(3) 歳出

支出済額は 138,621,656,492円で、予算現額 147,089,481,000円に対する執行率は 94.2% となっている。

不用額は 8,467,824,508円で、主なものは保険給付費 7,037,780,740円、予備費 1,328,761,000円であり、前年度に比較すると 810,833,350円 (10.6%) 増加している。

[歳出予算の執行状況]

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 総務費	276,585,000	259,435,576	93.8	0.2	0	17,149,424
2 保険給付費	142,489,404,000	135,451,623,260	95.1	97.7	0	7,037,780,740
3 県財政安定化基金拠 出金	122,885,000	122,884,350	100.0	0.1	0	650
4 特別高額医療費共同 事業拠出金	12,120,000	11,632,785	96.0	0.0	0	487,215
5 保健事業費	269,877,000	215,936,892	80.0	0.2	0	53,940,108
8 公債費	10,822,000	0	0.0	0.0	0	10,822,000
9 諸支出金	2,579,027,000	2,560,143,629	99.3	1.9	0	18,883,371
10 予備費	1,328,761,000	0	0.0	0.0	0	1,328,761,000
合 計 ①	147,089,481,000	138,621,656,492	94.2	100.0	0	8,467,824,508
平成22年度 ②	141,648,589,000	133,991,597,842	94.6	-	0	7,656,991,158
増減額 ①-②	5,440,892,000	4,630,058,650		-	0	810,833,350
増減率	3.8	3.5		-	0.0	10.6

第1款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	276,585,000	259,435,576	0	17,149,424	93.8
22	291,448,000	262,043,534	0	29,404,466	90.0
比較	△14,863,000	△2,607,958	0	△12,255,042	
増減比	△5.1	△1.0	0.0	△41.7	

〔総務費の項別内訳〕

(単位：円、%)

総務費	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 総務管理費	276,018,000	258,966,675	93.8	261,595,567	△2,628,892	△1.0
2 賦課徴収費	567,000	468,901	82.7	447,967	20,934	4.7
合計	276,585,000	259,435,576	93.8	262,043,534	△2,607,958	△1.0

支出済額は259,435,576円で、前年度に比べ2,607,958円減少している。減少の主な要因は、レセプト情報管理及び電算処理システム等運用業務委託料の減及び診療報酬明細書二次点検及び療養費等支給申請書情報入力業務委託料の入札差金による減である。

## 第2款 保険給付費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	142,489,404,000	135,451,623,260	0	7,037,780,740	95.1
22	137,403,246,000	131,577,324,604	0	5,825,921,396	95.8
比較	5,086,158,000	3,874,298,656	0	1,211,859,344	
増減比	3.7	2.9	0.0	20.8	

[保険給付費の項別内訳]

(単位：円、%)

保険給付費	平成23年度			平成22年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 療養諸費	137,332,603,000	130,969,223,616	95.4	126,952,856,449	4,016,367,167	3.2
2 高額療養諸費	4,736,981,000	4,067,889,644	85.9	4,284,478,155	△216,588,511	△5.1
3 その他医療給付費	419,820,000	414,510,000	98.7	339,990,000	74,520,000	21.9
合計	142,489,404,000	135,451,623,260	95.1	131,577,324,604	3,874,298,656	2.9

支出済額は135,451,623,260円で、前年度に比べ3,874,298,656円増加している。増加の主な要因は、震災の影響により高額療養諸費が減少したものの、被保険者数の伸び等による療養諸費の増加がそれを上回ったことによるものである。

## 第3款 県財政安定化基金拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	122,885,000	122,884,350	0	650	100.0
22	126,184,000	122,884,350	0	3,299,650	97.4
比較	△3,299,000	0	0	△3,299,000	
増減比	△2.6	0.0	0.0	△100.0	

支出済額は122,884,350円で、前年度と同額である。



#### 第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	12,120,000	11,632,785	0	487,215	96.0
22	12,120,000	9,427,518	0	2,692,482	77.8
比較	0	2,205,267	0	△2,205,267	
増減比	0.0	23.4	0.0	△81.9	

支出済額は 11,632,785円、前年度に比べ 2,205,267円増加している。増加の主な要因は、国保中央会への拠出金の算定基礎となる1件当たり400万円超の高額医療費の額が増加したことによるものである。

#### 第5款 保健事業費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	269,877,000	215,936,892	0	53,940,108	80.0
22	250,316,000	177,938,153	0	72,377,847	71.1
比較	19,561,000	37,998,739	0	△18,437,739	
増減比	7.8	21.4	0.0	△25.5	

支出済額は 215,936,892円、前年度に比べ 37,998,739円増加している。増加の主な要因は、市町村へ交付する健康診査事業費補助金が増加したことによるものである。

第8款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	10,822,000	0	0	10,822,000	0.0
22	10,822,000	0	0	10,822,000	0.0
比較	0	0	0		
増減比	0.0	0.0	0.0	0.0	

資金不足の際の一時借入金に係る支払利子を予算計上したものであるが、一時借入する必要がなかったことによるものである。

第9款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	2,579,027,000	2,560,143,629	0	18,883,371	99.3
22	1,842,038,000	1,841,979,683	0	58,317	100.0
比較	736,989,000	718,163,946	0	18,825,054	
増減比	40.0	39.0	0.0	32280.6	

支出済額は2,560,143,629円で、前年度に比べ718,163,946円増加している。増加の主な要因は、療養給付費負担金等の返還金が増加したことによるものである。

第10款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
23	1,328,761,000	0	0	1,328,761,000	0.0
22	1,712,415,000	0	0	1,712,415,000	0.0
比較	△383,654,000	0	0	△383,654,000	
増減比	△22.4	0.0	0.0	△22.4	

#### 4 財産

##### (1) 物品

重要物品（取得価格が50万円以上のもの）の状況は、次のとおりである。

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
各種自動車類	-	0	
各種機械類等	1	0	1
合 計	1	0	1

##### (2) 基金

特定の目的のために財産を維持し、積み立てられた基金（定額の資金を運用する基金を除く。）の状況は、次のとおりである。

##### ア 財政調整基金

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
現 金	27,864	767	28,631
債 権	0	0	0

基金の額は、前年度末現在高 27,864千円から 767千円増加し、28,631千円となっている。

##### イ 後期高齢者医療制度臨時特例基金

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
現 金	1,538,112	△93,947	1,444,165
債 権	0	0	0

基金の額は、前年度末現在高 1,538,112千円から 93,947千円減少し、1,444,165千円となっている。

## 第6 審査意見

平成23年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計における決算審査の状況については以上のとおりである。

広域連合事務局が執行している事務事業は法令等に基づき、概ね適正に処理されているものと認められる。また、歳入歳出予算の執行についても、概ね適正であると認められる。

なお、今後においても、後期高齢者医療制度は、被保険者の方々の負担や厳しい財政事情の中で捻出した市町村等の公費によって賄われていることを常に念頭に置きながら、経費の抑制を徹底することはもちろんであるが、高齢者福祉の一層の向上と充実に資することができるよう、常に前向きな運営に努められんことを望むものである。